

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書

記入日		2017 年 12 月 20 日	
派遣プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> HUSA	<input type="checkbox"/> USAC	<input type="checkbox"/> UMAP
留学先大学	ネバダ大学 大学 (国名: アメリカ)		
所属学部・学科等名	リベラルアーツ		
在籍身分	交換留学生 J-1 ビザ		
留学期間	2017 年 8 月 18 日～ 2017 年 12 月 20 日		

1. 留学するまで	
留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	正直に言うとイギリスに行きたかったがテストの点が足りずにそこへは行けなかったが英語が学べるという理由でアメリカの大学に変更した。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	応募する8ヶ月前
事前準備について (どのような準備をしたか, しておけばよかったか)	予防接種の中で受けていなかったものがあったままアメリカに行ってしまうアメリカで予防接種を受けて日本よりも高い値段で支払ったので日本でしっかりしておくべきだと思った。

2. 渡航について	
ビザについて	ビザの種類: J-1
	ビザ申請先: 米国大使館 大阪
	提出書類: DS-160, パスポート, 面接予約確認書, DS190, SEVIS 証明書
	手続きに要した日数: 1 か月
その他必要な事前手続き	特になし
出国年月日	2017 年 8 月 18 日
経路 (往路)	福岡-台桃-サンフランシスコ
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input checked="" type="checkbox"/> 大学関係者 ・ その他) <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (期間: 1 日 内容: 大学生活について) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	2017 年 12 月 21 日
経路 (復路)	サンフランシスコ-台桃-福岡

3. 留学費用について

支出額	総額	795000	円	
	内訳	渡航費（往復）	140000	円
		ビザ申請手数料	20000	円
		予防接種費用	20000	円
		保険料	60000	円
		教材費（授業料以外の学費）	20000	円
		宿舍費（住居費）	225000	円
		光熱費	0	円
		食費	200000	円
		通信費（インターネット・携帯）	0	円
		交通費（宿舍ー大学間）	0	円
		交際費	20000	円
		その他（大学に支払わなければならない費用） （ショッピング 費） （ 費）	70000 20000	円 円 円

4. 授業・修学について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	リスニング、ライティング、リーディング、中国語
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてのアドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など）	

5. 生活等について

(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他（ インターナショナルハウス ）		
住居の広さ	約 8 m ²	同居人の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 1 人 ） <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居費	1ヶ月当たり	400ドル(現地通貨)	約 450000円

留学先での住居全般に関するアドバイス	ネバダ大学に留学するのであればインターナショナルハウスをお勧めします。
(2) 医療について	
保険の加入先	<input checked="" type="checkbox"/> 本学指定の保険 <input type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 <input type="checkbox"/> その他 ()
保険の補償内容	補償額 死亡 10000000 円、 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (種類: MMR or Tdap 回数: 1回 医療機関名: ネバダ大学) <input type="checkbox"/> 無
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	特に怪我などしていないのでわかりません
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	ネバダ州リノは朝昼の寒暖差が西条よりもすごいので厚い服を持って行った方がいいです
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと	
近くで何度か発砲事件があった。夜は一人で出歩かない方が良い。	
(4) 食生活についてのアドバイス	
インターナショナルハウスでは自炊できるので好きなものなんでも作れます。外食すると最低 10 ドルはかかるので自炊をお勧めします。(ラーメン 20 ドル、ベトナム料理フォー 10 ドル、寿司 20 ドル)	
(5) 気候・服装についてのアドバイス	
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む)	
大学内では WIFI が使えるので不便なことはないです。ただ街を外れるとインターネットが繋がらなくなることが多々あります。	
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?)	
毎日曜日にインターナショナルハウスでパーティーみたいなものが開かれるのでそこで友達ができます。あとサークルで Japanese club というものあってそこでも現地の人と友達になることができます。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
朝昼の寒暖差が西条よりもあるので体調管理には気をつけたほうが良い (11 月 朝 -5 度 昼 20 度)	

(9) 日本から持っていくべきもの、持っていきべきでないもの
持ってこなくても全て揃うと思いますが薬は持って行っておいたほうが良い。
(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス
基本的に日本と同じ生活ができると思います。

6. 帰国後の進路について	
卒業予定年月	20 年 3 月 (当初の卒業予定年月 20 年 3 月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
現在の状況および今後の予定・進路等	そのまま大学を続けます。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	2年生で留学するならばある程度余裕が持って単位修得や就活ができると思います。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等		
書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント
特になし		

8. 後輩へのメッセージ

9. 自由記述 (1,200 字程度)

今回の留学で改めて日本の良さを知ることができました。1年前STARTプログラムでアメリカに行った時に感じたのはアメリカの良さでした。しかしアメリカで4ヶ月暮らすことによって日本では普通であるのにアメリカでは普通でないことをいくつか見つけることができました。その中でも一番の日本の良さは安全です。日本にいるときは夜出歩いても何の怖さも感じず出歩けるのですがアメリカでは夜、ホームレスがたくさん徘徊していたり、夜銃声が聞こえてきます。安全は日本では何もしなくても手に入るのにアメリカでは確保されません。こういう理由もあって私は留学に行く前までは将来海外で働きたいなど漠然と思っていたのですがその考えが完全に変わりました。最近日本を叩く人が増えていますがそれでも日本は世界一安全できれいな国だと思います。私も行く前までは日本の安全に対する意識はほとんどありませんでした。だから日本の良さを知るためや将来アメリカで働くのは自分にとって良いことなのか悪いことなのかを知るためにアメリカで長く生活することは自分の将来を決める時にとても役立つと思います。そして次にもう一つ伝えたいことがあります。他の人が留学して良かった点を伝えてくれていると思うので僕はしなくてもいいということについて書きます。私がまず思ったのが英語の勉強は日本でも全然できるということです。日本にいるときはスピーキング能力を鍛えるには英語圏に行くべきだと考えていましたが留学が終わりそれは日本でもできると感じました。オンライン英会話を使ったり広大に留学してきている人と会話することでスピーキング能力は向上すると思います。そして私が思ったことは留学に行く理由はその大学で勉強したいことがあるという理由やその国でなければならぬ理由であったほうが良いと思います。僕がアメリカで出会ったその理由がある留学生は比較的少なかったように感じます。しかしアメリカの授業ではディスカッションの授業がありそれをしてみたいと思う人は行くべきだと思います。実際私も授業で意見を述べるできるようになりましたし自分の意見を考えるということは何ども経験することによって自分の人生に対してもっと考えることができるようになりました。最後に今回の留学をしたことによって今後どう影響するかについて書きます。この留学で私は先ほども書いたとおり日本の良さを知ることができました。給料などはアメリカのほうが明らかに良いのだと思いますが完全な学歴社会（絶望死という言葉もある）やお金で買えない安全性、ご飯の質など日本人の私には合わない部分もあります。この経験によって私は将来は日本で仕事をしたいと思うようになりました。ただアメリカはたくさん観光地があって旅行して楽しい国の中でトップだと思うのでいつかまた旅行したいです。

